

令和1年11月8日

調査・研修報告書(会派個人用)

会派名

報告者 田部道男

<p>実施場所: 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字柳沢91 (地方独立行政法人) 青森県産業技術センター野菜研究所</p>	<p>実施日: 令和1年11月2日</p>
<p>■ 目的・課題・問題事項(調査に先立っての思いや本市の現状 など)</p> <p>東北地方で、リンゴ・にんにく・ごぼうの生産量全国1位を占める青森県の農業情勢と冬期降雪時の農業事情を習得したい。</p>	
<p>■ 参考とすべき事項</p> <p>本州最北端の青森県は、雪の津軽地方と太平洋に面する雪の少ない南部地方とで農業事情は大きく変わり、農地は広大であるが県内の米の生産額513億円に対し、りんご794億円、野菜794億円を算出している。</p> <p>その他農業ランキングでは、長いも第2位、大根第3位、にんじん第4位、養豚・養鶏・水産も盛んで、本県、本市の農業と比較し規模・取組とも相当な違いがあり、特に猪の農業被害がまだ無いということであった。</p> <p>農家の出稼ぎに変わる寒冷地での冬場の仕事対策として、にんにく・長いも・にんじんが定着しているのが特徴的と感じた。</p> <p>また、にんにく栽培に関する技術指導で、収穫後の乾燥技術や、ウイルス病対策、種にんにくについての話や圃場視察も行うことができた。</p>	
<p>■ 提言・その他(本市の施策等にどのように活用すべきか など)</p> <p>青森県の広大な農地を活用した耕種的農業は本市では難しいが、果樹の振興、ハウス活用の野菜振興を図る農業施策のさらなる推進が必要である。</p>	